

2024年度 環境経営レポート

対象期間 2024年4月1日～2025年3月31日

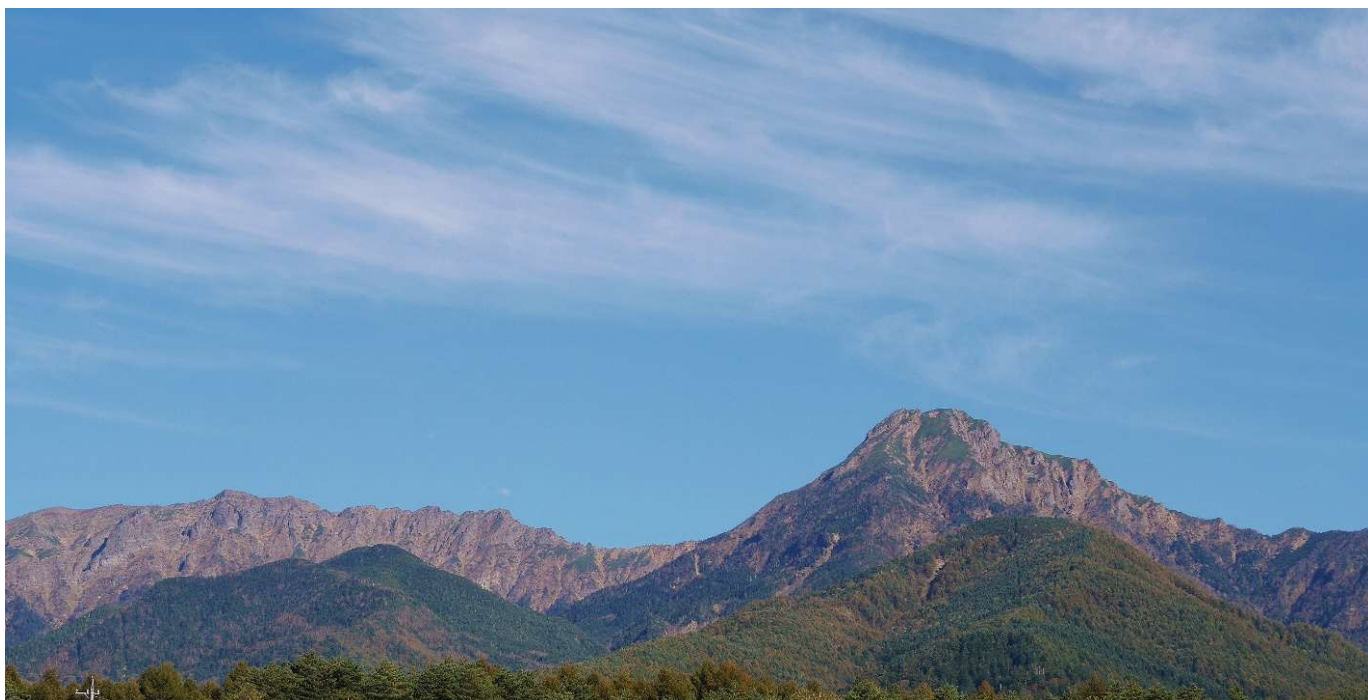
発行:2025年05月1日



まえがき

わたしたちは信州の雄大な自然の中で、製品の製造やサービスの提供を行っています。四季の中でゆっくりと、その季節ごとの美しさを見せてくれる八ヶ岳や蓼科山をはじめ、身の回りにある風景は、未来の子供たちに受け継ぐべき、素晴らしい地域の財産だと感じています。この地で暮らしながら、地域のために尽くせることはなにかと考え、環境活動を行う使命を忘れず、お客様のご要望に寄り添った、やさしさや気配りを大事にした製品・サービスの開発を行い、使っていただくお客様の元でも環境負荷低減につなげられるような環境活動に取り組んでいます。

代表取締役 岡田 純二



目次

1. 会社概要	P3
2. 環境経営方針	P4
3. 環境管理体制図	P5
4. 製品紹介	P6
5. 環境経営目標	P7
6. 環境活動への取組み	P8
7. 環境経営目標への取組内容	P9
8. 環境経営目標と実績	P10
9. 二酸化炭素排出量一覧	P11
10. 取組結果と考察	P12～15
11. 次年度の取組内容	P16
12. リサイクル活動への取組	P17
13. 環境教育と対応訓練	P18
14. 環境コミュニケーション	P19～20
15. 代表者の見直しと評価	P21
16. 環境法規関連の遵守状況	P22



1 会社概要

会社名	ユーレックス株式会社
資本金	90,000 千円
所在地	長野県茅野市玉川上原山林間工業公園
代表者名	代表取締役 岡田 純二
環境管理責任者	工場長 武田 和文
事業内容	家庭用電化製品の設計・製造・加工及び販売 家庭用電化製品のアフターサービス ドリルの再研磨
従業員数	42名
売上高	297,000千円
認証の対象範囲	全組織・全活動を対象とする



自然豊かな八ヶ岳の麓にユーレックスの工場があります。



ユーレックス社屋



2 環境経営方針

～ 環境経営理念 ～

郷土信州の豊かな自然を愛し、その恩恵への感謝を持ち続けながら、日々向上していくための努力を惜しまず、信頼される企業となることを目指す。

～ 環境経営方針 ～

上質で快適な生活実現のための製品を開発・提供していくとともに、顧客の生活に寄り添ったサービスを通じて、顧客からの信頼を得られることを目指す。環境活動を経営管理上の重要事項と位置付け、環境行動指針を定め環境負荷低減に取り組んでいく。

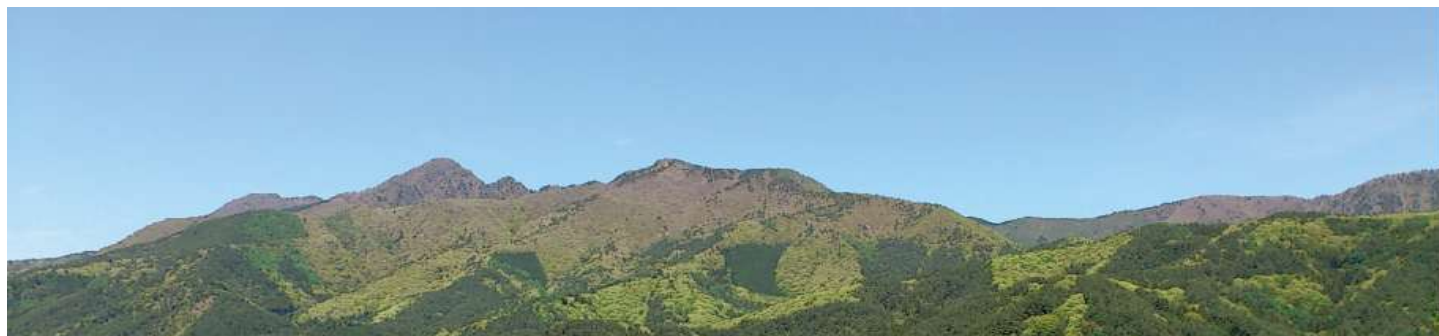
～ 環境経営行動指針 ～

- 1 環境関連法規、条例、当社が同意するその他の要求事項を全社員が認識し遵守する。
- 2 当社の事業活動において次の事項を重要課題とし、目標を設定した上で取り組む。
 - ① 資源の有効活用とエネルギーの有効活用に努める。
 - ② 廃棄物の分析を行い、排出される廃棄物については徹底した分別とリサイクルに努める。
 - ③ 水資源の有効利用に努める。
 - ④ 製品のライフサイクルに配慮した商品開発・資材調達に努める。
- 3 当社商品のアフターサービスの充実とメンテナンスにより、商品の長寿命化に努める。
- 4 全社員に環境経営方針を周知徹底し、環境保全活動の向上と継続的な改善に努める。
- 5 環境経営の継続的な改善を実施する。

制定日 2011年06月02日

改定日 2019年08月30日

ユーレックス株式会社
代表取締役 岡田 純二



3 環境管理体制図

対象範囲は全組織・全活動とする。



各課の主な役割

管理課	業務係	業務効率の向上。業務ミスの削減
	物流係	保管場所の整理整頓と在庫差異の削減
製造課	研磨係	段取り時間の削減と作業効率の向上
	製造係	生産効率の向上と工程内不良の削減
技術・開発課	技術係	環境配慮型製品の開発
品質管理課	品質管理係	不良部材の削減



4 製品紹介

HERITAGE HEATER (ヘリテージヒーター)



オイルヒーターで培った技術と
経験で誕生したユーレックスの
新しい暖房機。

オイルヒーターの良い所は残し、
弱点を改善したこれからの新しい
暖房機として日本全国で販売
しています。

省電力除湿冷暖装置 e-Comfort



熱交換システムを用いた、
除湿冷暖装置の製造、販売を
開始。

工場で排水している、チラー
水や井戸水を有効利用し、電
気代を大幅に削減できず装置
として多くの工場ご利用い
ただいております。

5 環境経営目標

当期および中期の環境目標値

項目		基準値 (基準年度) 2023年	2024年度 (当期目標値)	2025年度 (目標値)	2026年度 (目標値)
二酸化炭素 排出量の削減	購入電力	158,799kWh 71,301kg-CO ₂ ※維持管理	158,774kWh 68,749kg-CO ₂ ※維持管理	158,774kWh 68,749kg-CO ₂ ※維持管理	158,774kWh 68,749kg-CO ₂ ※維持管理
	灯油使用量 (冬季)	10,052L 25,029kg-CO ₂ ※維持管理	10,210L 25,423kg-CO ₂ ※維持管理	10,210L 25,423kg-CO ₂ ※維持管理	10,210L 25,423kg-CO ₂ ※維持管理
	排出総量	96,330kg-CO ₂	94,172kg-CO ₂	94,172kg-CO ₂	94,172kg-CO ₂
廃棄物排出量の 削減	産業廃棄物	1.00 t ※維持管理	1.00 t ※維持管理	1.00 t ※維持管理	1.00 t ※維持管理
	一般廃棄物	348.0kg ※維持管理	348.0kg ※維持管理	348.0kg ※維持管理	348.0kg ※維持管理
水道使用料 の削減	節水	289.3m ³ ※維持管理	294.2m ³ ※維持管理	294.2m ³ ※維持管理	294.2m ³ ※維持管理
環境配慮型製品	商品開発中	省電力除湿冷暖 装置の開発	次モデル検討	次モデル検討	次モデル検討
社会貢献	会社周辺の 清掃活動	会社周辺の清掃 (2回/年)	会社周辺の清掃 (2回/年)	会社周辺の清掃 (2回/年)	会社周辺の清掃 (2回/年)

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数は2023年度 中部電力(株)の排出係数 0.433kg-CO₂/kWh を使用し算出しました。

※ 灯油の二酸化炭素排出係数は 2.49kg-Co₂/Lを使用し算出しました。
(温室効果ガス総排出量 算定方法ガイドライン Ver.1.0 環境省より)



6 環境活動への取組み

ユーレックスでは本来業務の改善を主軸とした環境活動を実施しています。



7 環境目標に対する取組内容

担当部門別の主な取組内容

項目	主な取組内容	担当部門
二酸化炭素排出量の削減 ・電気使用量 ・灯油使用量	暖房機 ・業務効率を向上させ残業時間を短縮させる。 ・残業を行う場合の作業場所を設定する。	全体
	生産効率の向上 目標 作業効率の向上 ・ラインレイアウトの変更 ・管理フォーマットの作成と見直し ・実績表の記録と掲示	製造係
	受入部材の品質向上 = 生産効率の向上 目標： ・作業指示書の見直し及び修正。 ・過去トラのまとめ	品質管理課
	研磨作業の効率向上 目標：昨対 1本当たりの電気代を削減 ・自動研磨機の教育	研磨係
	在庫精度の向上 目標：整理整頓と在庫差異の削減 ・保管方法の見直し ・ロケーションの見直し	管理課 物流係
	業務効率の向上（社内ミスの撲滅） 目標：作業ミス 0件 ・運営ルールの確立と周知 ・サーバー整理 ・Web集荷の活用	管理課 業務係
一般廃棄物排出量の削減	古紙の分別 ・コピー用紙・雑古紙・難古紙 分別教育 ・ゴミ置き場マップの掲示と周知 ・分別ルールの説明会（2回/年）	全体
節水	水漏れ確認 ・週末に水道メーターの確認 ・節水注意喚起の掲示物を見直し ・朝礼での呼びかけ	全体



8 環境経営目標と実績

各項目の実績一覧

項目		基準値 (基準年度) 2023年度	2024年度 (当期目標値)	2024年度 (実績値)	判定
二酸化炭素排出量の削減	購入電力	158,799kWh 68,760(kg-CO ₂)	158,774kWh 68,749(kg-CO ₂ /kWh)	156,445kWh 67,741(kg-CO ₂)	○
	灯油使用量 (冬季)	10,052L 25,029kg-CO ₂ /L	10,210L 25,423kg-CO ₂ /L	11,018L 27,435kg-CO ₂ /L	X
	排出総量	93,789kg-CO ₂	94,172kg-CO ₂	95,176kg-CO ₂	○
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物	348kg	348kg	352.11kg	X
水道使用料の削減	節水	289.3m ³	294.21m ³	282.5m ³	○
環境配慮製品	環境配慮型製品の開発	省電力除湿冷暖装置の改善完了	省電力除湿冷暖装置 e-Comfortの改善	省電力除湿冷暖装置の改善完了	○
社会貢献	会社周辺の清掃活動	会社周辺の清掃 (2回)	会社周辺の清掃 (2回)	会社周辺の清掃 (2回)	○

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数は2023年度 中部電力(株)の排出係数 0.433kg-CO₂ /kwhを使用しました。

※ 灯油の二酸化炭素排出係数は 2.49 (kg-CO₂) を使用し算出しました。
(温室効果ガス総排出量 算定方法ガイドライン Ver.1.0 環境省より)



9 二酸化炭素 総排出量一覧

各項目の実績一覧

項目		2024年度 (実績値)
エネルギー消費	購入電力	156,445kWh 67,741(kg-CO2)
	灯油使用量 (冬季)	11,018L 27,435(kg-CO2)
	液化石油ガス (LPG)	93kg 279(kg-CO2)
	ガソリン	384.08L 891(kg-CO2)
	エネルギー消費 計	96,346(kg-CO2)
廃棄物排	廃プラスチック、廃油	0.875 t 2,275(kg-CO2)
	循環資源	6.35 t
	廃棄物焼却処理	0.35t 910(kg-CO2)
二酸化炭素排出量	総 計	99,531(kg-CO2)

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数は2023年度 中部電力(株)の排出係数 0.433kg-CO₂ /kwhを使用し算出しました。

※ 灯油の二酸化炭素排出係数は 2.49 (kg-C/L) を使用し算出しました。
(温室効果ガス総排出量 算定方法ガイドライン Ver.1.0 環境省より)

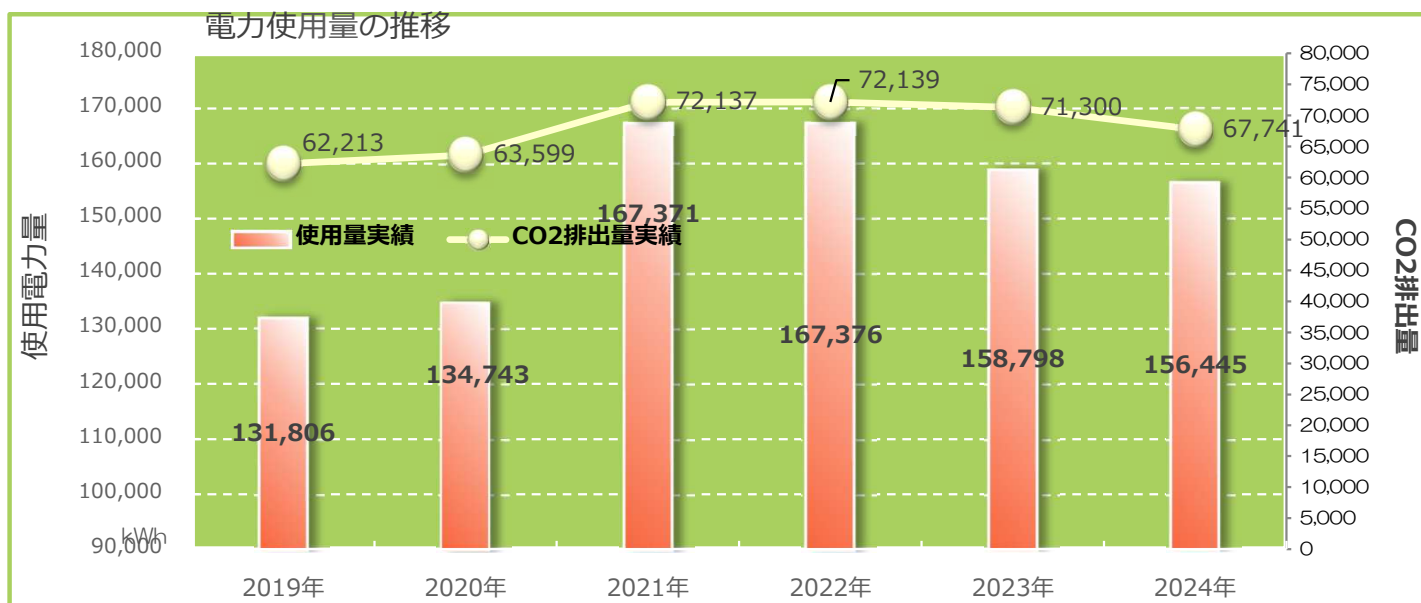


10 取組結果と考察

購入電力量の削減

	2024年度目標値	実績	判定
使用量	158,774 kWh	156,445 kWh	○
CO2排出量	68,760kg-CO2/kWh	67,741kg-CO2/kWh	○

主な取組内容	担当	結果
工程の見直しと改善策検討 作業効率を考慮したレイアウト検討	製造係	各工程の見直しと改善策を検討し、作業性に適したレイアウトに変更をしました
作業手順の見直しと更新	品質管理課	作業工程の見直しと指図書の更新し、不良の削減を実施しました。
研磨作業の効率向上 目標：1本あたりの使用電力 0.3円	研磨係	段取り時間短縮で1本あたり0.29円を達成しましたが、12月以降は長くなってしまい課題を残しました。
倉庫の運用を滞りなく行う	物流係	倉庫の整理が追い付かず、棚卸やpick時に時間がかかってしまいました。
出荷品質の向上、作業関連のシステム化検討	業務係	出荷ミスの削減と、システム化によるデータ化と作業効率の向上を行いました



来期以降の課題

実施責任者のコメントにも有る通り、未達が続いた場合の対応に遅れが発生したことは残念です。来期の計画作成を行う際に対策を検討し計画に落とし込んでください。

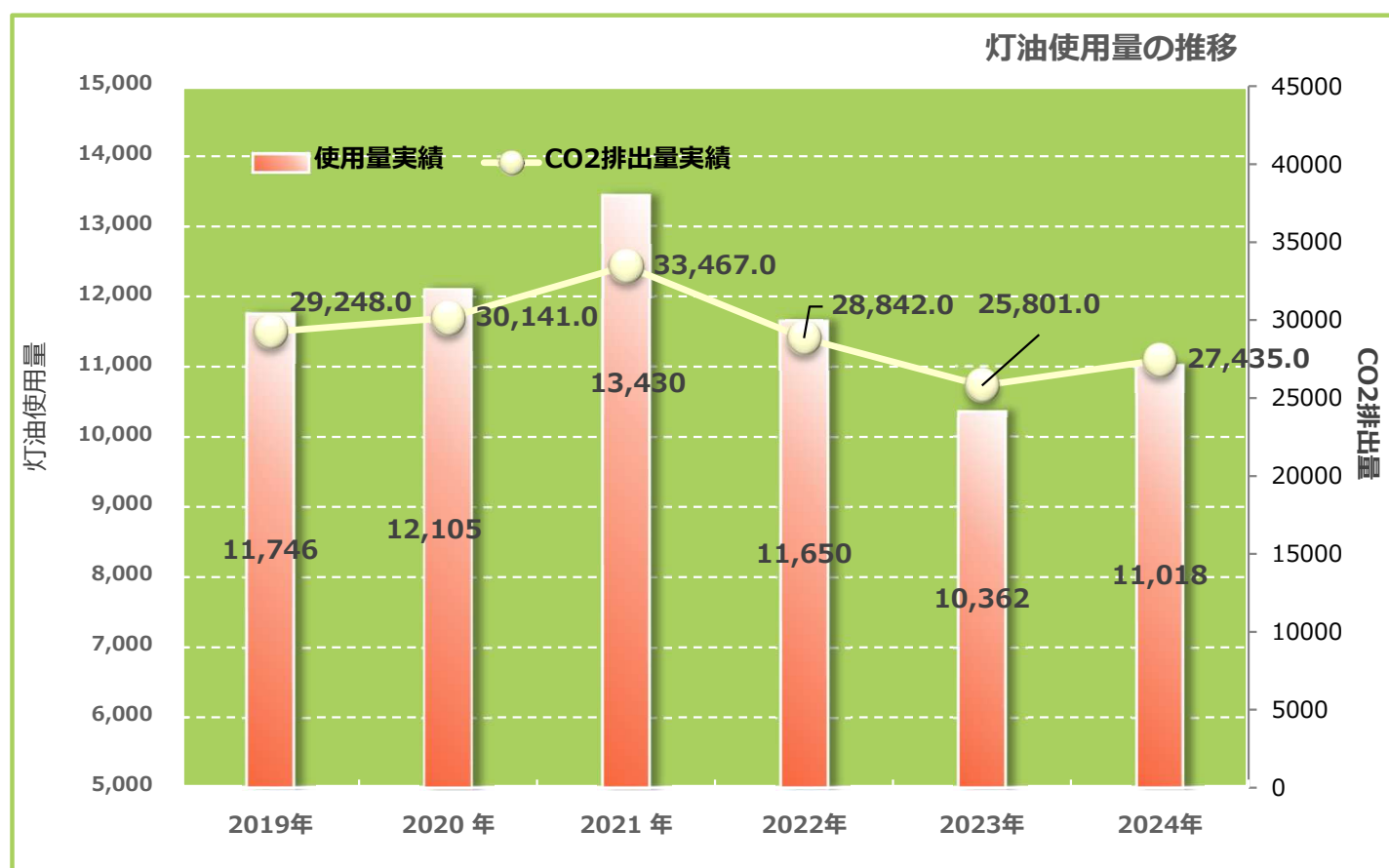


10 取組結果と考察

灯油使用量の削減

	2024年度目標値	実 績	判定
使用量	10,210 L	11,018L	X
CO2排出量	25,423kg-CO2	27,435kg-CO2	X

平均気温に左右されるため、目標値の設定が難しいです。ただ、残業時間など事務所で事務処理を行うなどで節約できる部分もあると思うので、協力してもらうようにしていきたいと思います。



今後の課題

暖房機のみを使用しているため、その年の気温によって使用量が大きく変動します。目標値を年初に決めた後に、実際の気温から目標値を変更することを適宜実施するよう注意します。

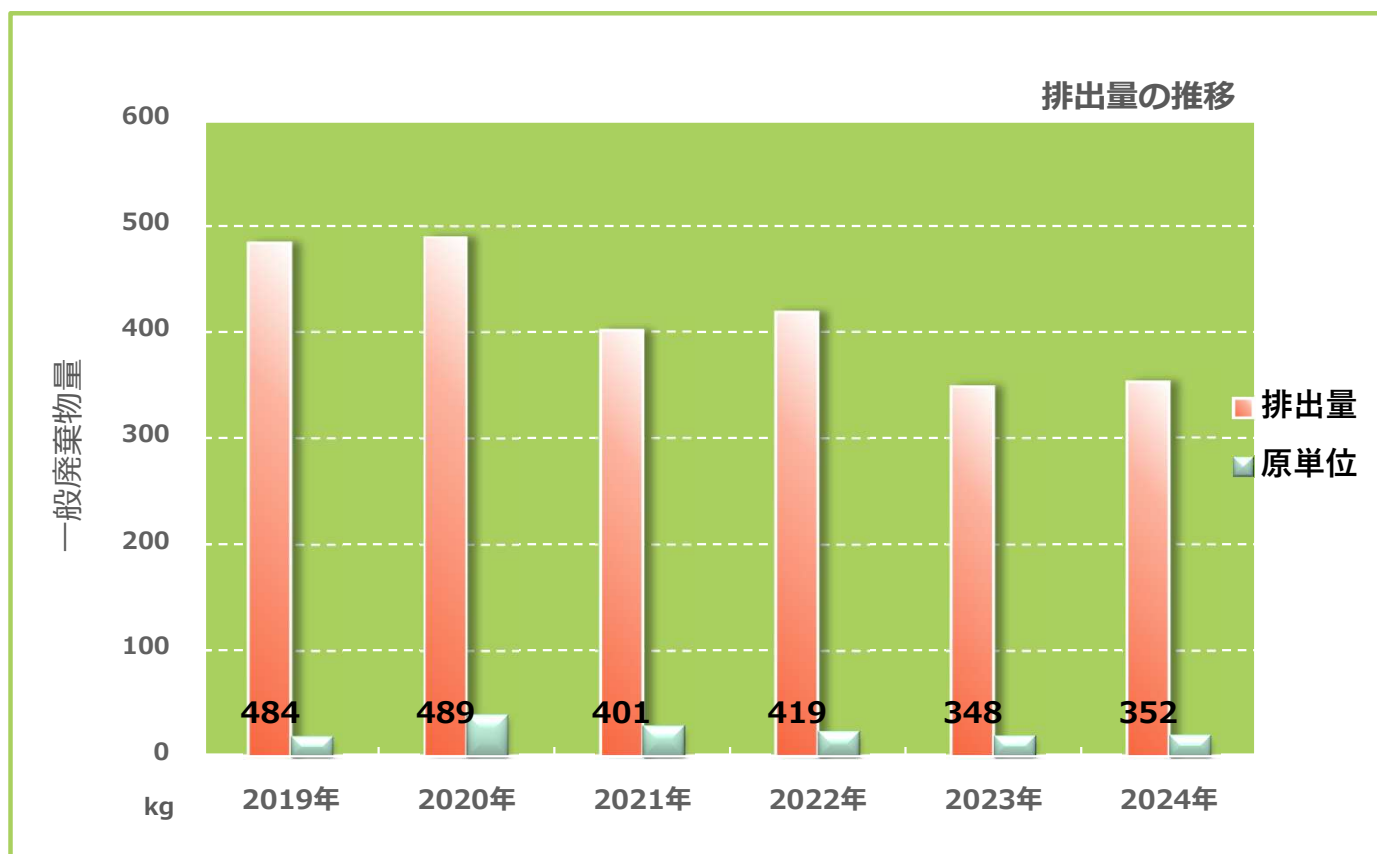


10 取組結果と考察

一般廃棄物の削減

	2024年度目標値	実 績	判定
排出量	348kg	352.11kg	×
原単位	24.66kg	21.14kg	○

イレギュラーな排出の発生など1年間の計画の中で読みにくい要素があるため、目標設定の難しさを感じました。ゴミを出さない行動をすることが意識として浸透しているので、年度目標にあと一歩まで排出を抑えられたと思います。より以上のゴミ削減に関して、有効な施策が見当たらないのが現状ですが、来期は1つでも新たな取り組みを行いたいです。



来期以降の課題

総量での実績は目標をわずかにオーバーしてしまいましたが、原単位では目標を達成となりました。実施責任者のコメントにもある通り、社内での排出削減は浸透していると判断できますので、更なる排出を抑えるためにはこれまでと違った工夫が必要となります。

本来業務に支障がないよう対応策の検討をお願いいたします。

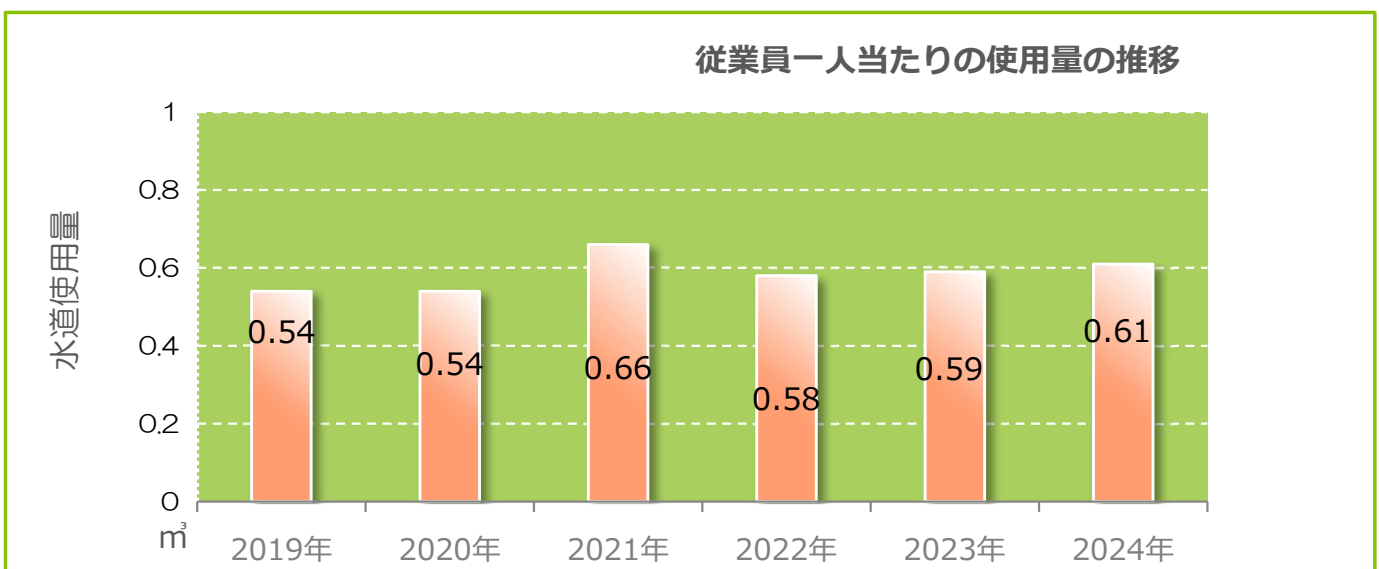
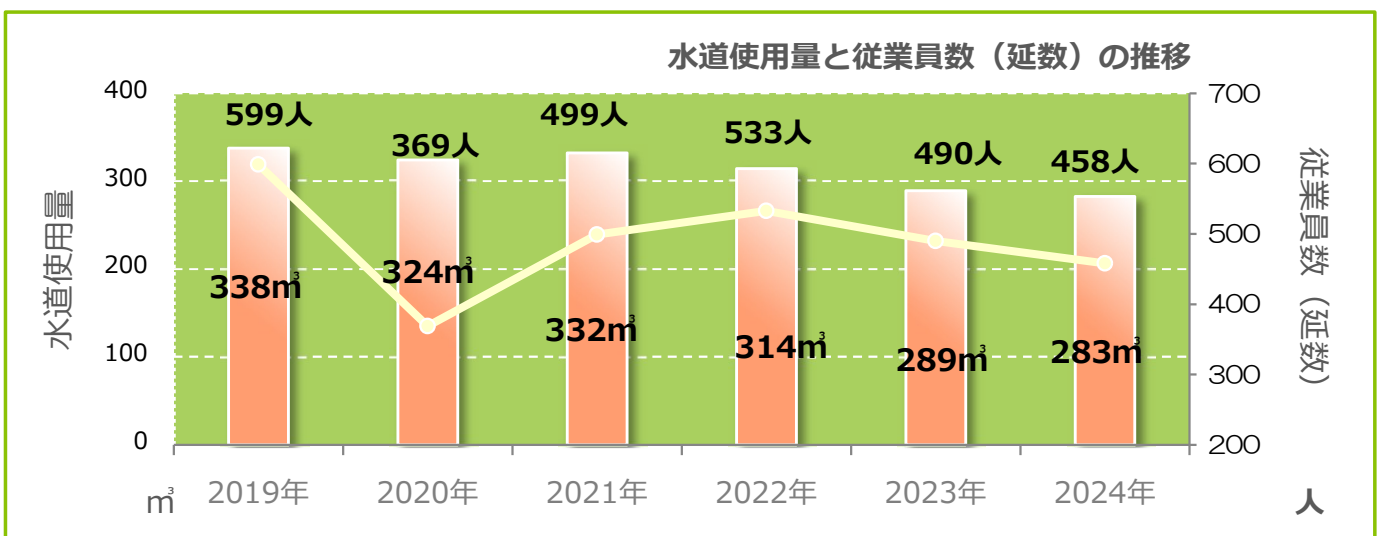


10 取組結果と考察

水道使用量の削減

2024年度目標値	実 績	判定
294.21m ³	282.5m ³	○

1月の水漏れ修繕から水量・人対比が安定しています。今までの傾向を見ると増加は、水漏れが影響している可能性が考えられます。使用者の情報が重要になると思います。今後は些細な事でも担当者に伝える情報伝達の検討が必要だと思います。



来期以降の課題

使用量の管理は徹底できていると判断できますので、日々の管理のなかで通常と異なる値が確認されたときに、何をどう確認するのかを検討してください。特に冬季は凍結の不安が常に発生します。凍結の有無が確認できるよう管理項目を追記ください。



11 次年度の取組内容

項目		2025年度 (目標値)	取組内容
二酸化炭素 排出量の削減	購入電力	156,800kWh 66,013kg-CO ₂ /kWh ※維持管理	・業務効率改善による残業時間の削減 ・業務ミス削減による工数削減 ・作業工数の見直しによる工数低減 ・受入部材の不良率削減による生産効率向上 ・段取り時間削減による工数削減
	灯油使用量 (冬季)	11,000L 27,390kg-CO ₂ ※維持管理	
	排出総量	93,403kg-CO ₂	
廃棄物排出量の削減	産業廃棄物	1.00 t ※維持管理	・不良数削減による廃棄物排出削減 ・作業ミス削減による廃紙の削減 ・一般廃棄物排出時の計量ルール徹底 ・分別ルールの見直しと周知 ・作業情報の共有
	一般廃棄物	351kg ※維持管理	
水道使用料 の削減	節水	263m ³ ※維持管理	・毎月の実績管理の徹底 ・朝礼等での節水啓発活動の実施 ・新型ウィルス流行に基づく原単位の見直し
環境配慮製品	環境配慮型製品 の開発	既存モデルと比較し5% の環境負荷低減	・新モデルの開発 ・環境負荷の算出
社会貢献	会社周辺の 清掃活動	会社周辺の清掃 (2回/年)	・新たな活動を再検討 ・工場周辺の清掃活動 ・周辺地域のエコ活動への参加（新型ウィルスの状況による）

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数は2023年度 中部電力(株)の排出係数 2.49kg-CO₂/kWh を使用し算出しました。

※ 灯油の二酸化炭素排出係数は 2.49 kg-Co₂を使用し算出しました。
(温室効果ガス総排出量 算定方法ガイドライン Ver.1.0 環境省より)



12 リサイクル活動への取組み



長年ご使用された当社の商品をお客様より回収し社内で分別を行っています。
分別された資源は契約会社により再資源化され、様々な利用目的のために使用されています。
回収はホームページや製品カタログなどでお客様にご案内しています。

電子基板

樹脂と有価物に分別されます。
樹脂はセメント材料として。
有価物は金と銀として再生されます。

電源コード

銅とゴムに分別されます。
ゴムは燃料として再利用されます。



オイル

燃料として再利用されます。

鉄

融解して鉄として再利用されます。

樹脂（ABS）

樹脂として再利用されます。

2024年度はお客様より248台の製品を回収しました。



13 環境教育

環境教育



EA21の理解を深めるために勉強会を実施しています。

教育完了後は教育訓練実績表にて未教育の社員が出ないよう管理し全員への教育を目標にしています。

環境推進委員会



推進委員会では前月の目標値と実績値の報告を行い、結果に問題点が発生している場合には是正検討を行います。

環境推進委員会での定例会で、各部門の実行計画に対する進捗確認も行っています。



14 環境コミュニケーション

ありがとうの木

お客様からの感謝をいただくと
りんごの実がつきます。



工業公園内清掃活動

工業公園内の清掃活動に参加しています。

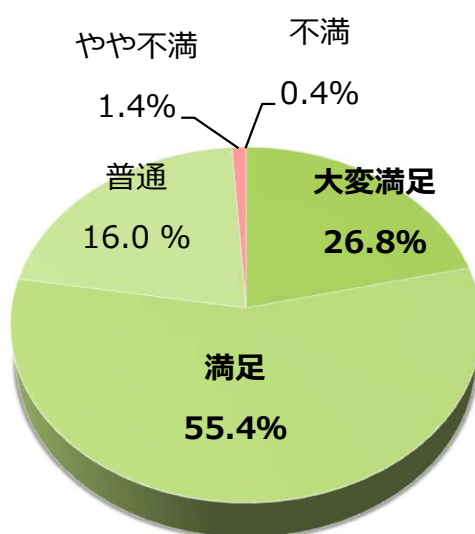


14 環境コミュニケーション

お客様から頂いたアンケートの結果

ユーレックスでは、商品の品質向上や商品開発のために、ご購入頂いたお客様にアンケートを実施しています。

満足度調査



ご回答者数 150人

※2024年度アンケートより



約80%のお客様に満足とご回答頂きました。

アンケートでご記入いただいたお客様の声を反映した、既存モデルの改善や新モデルの開発を検討いたします。

お客様から頂いたコメント



厳冬期には-15℃になる高地で使用しています。
とても静かに部屋を暖めてくれるので、重宝しています。



空気をやわらかく温める感じでこの冬は重宝しました。意外に暖まるのも早いです。気に入っているのは、このサイズなのに軽く簡単に動かせること。扱いが楽です。

あと、購入の際の手続きもスムーズで旧式引取りの処理も対応が丁寧で助かりました。量販店にはない良さかと思いました。。



15 代表者の見直しと評価

環境配慮型商品の開発や自社ECサイトの運営など、ここ数年で事業内容は大きく変わり、部門別売上構成やそれぞれの環境負荷も大きく変化しています。

家庭用電気暖房機の製造、照明器具の製造、物流、ドリルの研磨など作業内容や環境負荷が異なる事業が同時に行われ、かつそれぞれの割合も日々刻刻変化し続けています。

したがって、それらの変化に適宜対応できる環境負荷設定、いいかえれば適切な原単位に基づく評価をすることが必要不可欠となります。

今期の結果においては灯油使用における原単位の算出が適切ではなかった事が顕在化しました。事業内容が変わったことにより冬季における灯油使用量はこれまでの原単位算出方法では正しく判断できなくなっていると考えられますので、この点を充分反省し、原単位での算出方法を再検討したうえで、適切に環境負荷を評価できるよう改善する必要があります。

今後、環境活動をより有意義なものにしていくために、原単位の重要性を全社で理解することが必要です。仕事量が変わる、効率改善を図る、作業損出が発生する、これらは全て環境負荷も変わることを、環境管理責任者を中心に環境推進委員会にて共有し、全従業員への周知徹底を行う事で、より意味のある環境活動になることを望みます。

代表取締役 岡田 純二



16 環境法規関連の遵守状況

当社の企業活動に伴い適用される環境関連法規は下記の通りです。

環境管理責任者が中心となり法規の順守状況についてチェックを行い、現在及び過去3年間で問題のない事を確認いたしました。

同様に関係機関及び顧客・近隣住民からの苦情、訴訟もございませんでした。

法規の名称	該当すべき要求事項 (対応すべき事項)	備考	判定
廃棄物処理法	委託基準	一廃収集業者の許可確認	○
	委託基準	産廃収集運搬 処理業者の確認及び契約	○
	保管基準		○
	マニフェスト交付		○
	産業廃棄物管理票交付等 状況報告書の提出		○
	水銀使用製品廃棄物		○
消防法	危険物の適正管理		○
容器リサイクル法	包装材料使用台帳の作成		○
家電リサイクル法	社内にて使用している 家電製品	今期排出なし	-
小型家電リサイクル法	社内にて使用している 小物家電製品	今期排出なし	-
フロン排出抑制法	エアコン コンプレッサードライヤー		○





eureks

ユーレックス株式会社

〒391-0011

長野県茅野市玉川字原山 11400-1080

[http : //www.eureks.co.jp](http://www.eureks.co.jp)